



九州旅客鉄道労働組合

No. 468 (2020.7.16)

福岡市博多区博多駅前3丁目13-4

TEL 092-472-7950(代)

URL http://www.jr-krwu.org

発行人/中原博徳 編集人/吉田春菜

LINE@



## 第29回 定期大会

### 組合員・家族の雇用と生活を守り 労働組合の役割と意義を發揮しよう!

JR九州労組は7月9日、中央本部において、第29回定期大会を開催し「安全の確立」「組織強化・拡大」「チャレンジ2023の具現化(労働条件の向上)」「政策課題の解決」などを柱とした2020年度運動方針を決定した。

本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、JR九州労組初の書面による議決とした。議長に清水敬伍代議員(北九州支部)を選出し、2020年度運動方針をはじめとする全ての議案が代議員の同意確認書により賛成多数で採択されたことを確認した。来賓にはJR連合の北村労働政策部長が出席し、連帯の挨拶をいただいた。

未だ収束を見せない新型コロナウイルス感染症に加え、今月初旬に発生した令和2年7月豪雨の復旧など、課題は山積しているが、このような時だからこそ、組合員・家族の雇用と生活を守り、労働組合の役割と意義を發揮すべく意思統一を図った。



JR九州労組中央本部会議室にて行われた大会の様子

### 「出会い」「ふれあい」「語り合おう」が労働組合の原点



中原中央執行委員長挨拶

日頃よりJR九州労組の運動にご協力をいただいている組合員の皆さんに感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス禍のなか、JR九州の安全・安定輸送の確保やお客様への感染防止等に懸命に努めていただいていることに敬意と感謝を申し上げます。

### ■新型コロナウイルス感染症について

まずは、渦中にある新型コロナウイルス感染症の拡大防止に引き続き全力を挙げて取り組むほか、危機的状況にある会社経営を支えるべくJR連合と連携して取り組んでいる固定資産税減免等の支援策実現に全力を挙げ取り組むこととする。

### ■政治政策課題の取り組み

緊急事態宣言解除時に政府から示された「新しい生活様式」が求められるなか、私たちの働く環境も変化を余儀なくされているが、組合員とその家族が将来にわたって安心して生活できる環境を築いていくためこれからもしっかりと地に足をつけた運動を展開していかなければならない。

### ■安全の確立

引き続き「すべてのJR

関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を重点テーマに掲げ、協力会社・グループ会社も視野に入れた安全最優先の企業風土構築に向けて取り組むこととする。

安全・衛生の取り組みについては、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大によってよりクローズアップされた課題と言える。安全衛生委員会の充実・強化を図る取り組みについて強化していく。

### ■組織の強化・拡大

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴いJR発足後初めてとなる一時帰休(休業)が導入されることとなったが、導入にあたっては、労使協議を通じ、賃金が減額されないことの保障を確認した上で労使協定を結ぶとともに、グループ

労組とも連携を図り、休業に対する助言や指導を行ってきた。こうした状況から労働組合の存在意義・必要性・世話役活動の重要性を再認識されているのではないかと、仲間へ寄り添い、助け合い、信頼される労働組合となるよう、引き続き組織の強化・拡大に全力を挙げていく。

### ■政治政策課題の取り組み

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、会社の経営基盤を支える産業政策に対する取り組みにも力を入れていかななくてはならない。既に固定資産税・都市計画税の減免等、コロナ後の社会変容への対応策も含めてJR連合と連携して取り組んでおり、今

年度の補正予算や次年度予算・税制改正での実現を念頭に置き、JR連合国会議員懇談会・議員フォーラムへの働きかけを強化していくこととする。

また、自然災害による鉄道設備被害からの早期復旧に対する支援や減災・防災の観点からの支援についても同様にJR連合、JR連合国会議員懇談会、議員フォーラムと連携し取り組んでいくこととする。その上で、こうした政策的課題の解決にあたっては、政治力を背景とした取り組みが重要になってくることから

も各種選挙における推薦議員の必勝に向けて取り組みとともに、組合員の政治参画意識の醸成に取り組むこととする。

### ■労働政策課題の取り組み

「チャレンジ2023」

「チャレンジ2023」

## JR連合 第29回定期大会

JR連合は6月16日、東京都内で第29回定期大会を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面による議決とし、大会はWebによるライブ配信も行われた。JR九州労組の参加者はJR九州労組中央本部の会議室から配信を視聴し大会に参加した。

執行部を代表して挨拶した荻山会長は、「緊急事態宣言による外出自粛などによりJRグループ全体で1兆円規模の減収となった。まずはこのダメージを克服し、JRが社会的役割を果たし続けられる経営体力を

回復するための対策に全力で取り組む。また、収束後の社会の変化に対応し、雇用を守り、JR産業の発展を持続させるためには健全で責任ある労働組合と労使関係が必要である。労働組合としても、仲間へ寄り添い、助け合い、信頼される組織の強化に力を入れるとともに、JR産業に働くすべての仲間を力合わせていくためにもJR連合への総結集を呼び掛ける」と訴え、JR連合ビジョンの実践の決意を語った。

今、時代は大きな変革期を迎えており、JR労使が

で目標とする更なる労働条件の向上や働き方の見直し等の実現に向け、当面する2020年度労働協約改訂交渉に全力を挙げ臨むこととする。我々の最大の労働条件である「賃金」については、今春闘で「ベアゼロ」という厳しい結果に至ったことを真摯に受け止め、2021春闘においてもベア獲得を念頭に闘いを展開していくこととする。取り巻く環境がこれまでになく厳しいことは想定されるが、JR九州グループが将来に巨額で発展していくためにもこの難局を乗り越える原動力となる組合員の頑張り、協力の必要性を粘り強く訴え、短期的対処法では無く、中長期視点に立った判断からの対応を求めていくこととする。

更に、今春闘で会社から

### ■最後に

「JR連合ビジョン」に掲げる理念「出会い、ふれあい、語り合い」は様々な職場に集う仲間が系統や職責の違いを越え、一人では解決できないことをみんなの力を合わせて解決していく労働組合の原点を意味している。JR九州労組はこの理念のもと、責任労働組合としてこれからも力強く運動を展開していくことを決意し、執行部を代表しての挨拶とする。



議長を務めた清水代議員

胸襟を開いて意思疎通し、危機感を共有して政治や行政などを巻き込みこの難局を乗り越えなければならぬ。JR連合は、JRの責任産別としてJR産業の未来を切り拓き、組合員と家族の幸せを実現するべく、積極果敢に運動を展開していく決意を示し、Web上での「団結ガンバロー」で大会を終了した。



中継を見ながら九州で参加するJR九州労組の参加者たち



